新春餅つき会

楽しい1日でした

こどもたちも活躍

力いっぱい

3度目の餅つき会

1月15日(日)新春餅つき会。寒かった。当日はたくさん集まって来て下さいました。宣伝がいつもなかなかできません。だから、参加者のことが気になります。今回はもちをつく人がいるだろうかと心配だったのです。

でも、写真を見ていただくとわかりますが、たくさんの方が挑戦して下さっています。こどもたちもこの日を楽しみにして、参加してくれました。

準備からお世話になりました

前日、たくさんの方が来てくださいました。八幡で採れたもち米をといで、大きなバケツにつけ込む・雑煮用の野菜を刻む・町内から用具を借りる等の準備をしました。たくさんのまきや、雑煮の材料の野菜もいただきました。

全て手作りです

公の施設ではないので、用具は何もありませんでした。石臼はいただいたものですし、釜は古くなったものを譲っていただき、他のものは1つずつ揃えてきました。

まるごと館へご参加下さい

当日は役割分担が決まっていたわけではなかったのですが、本当に手際良く動かれました。最後に、蒸したもち米を塩むすびでというリクエストがあり、それはとても美味しかったそうです。

まるごと館は、参加者の知恵と行動力で成り立っているといっても過言ではありません。

人と人のつながりのなかで元気や意欲を持てたらいいですね。

どうぞ、お立ち寄りください。

八幡まるごと館便り

2012年2月1日27号

<発行> 八幡まるごと館

八幡市男山松里12-20
TEL・Fax983-3664(9時～17時30分)
Eメール yawata@marugotokan.com

＊毎週火曜日は休館です。まるごと館は使用していただくことができます。ご相談ください。
＊野菜販売も火曜日休みます。

〈こんなことしました〉

フラワーアレンジメント

1月26日　8名と少なかったのですが、和気合いあいとした雰囲気の中でアレンジしました。Tさんの作られたケーキをいただきながら、楽しい時を過ごしました。

〈あんなこと・こんなこと〉

＊餅つき会。こんなにたくさんの方々にお世話になりました。人が集まると元気をいただきます。ありがとうございました。まるごと館のことをわかっていただいて、もっと若い方々にも参加してもらえるように日々奮闘します。来年もよろしくお願い致します。

＊新聞記事「死者思わずして復興なし」(山折哲雄さん1月18日の日経夕刊)より。

「東北は早くも忘れられている」

(最下段に続きます)

八幡まるごと館　2月・3月の予定　火曜日は休館です

〈楽しい理科の実験パート4〉

2月10日(金)午後1時～　綿菓子に挑戦。　講師は木下章司さん。どうぞお楽しみに。　予定では3日でしたが変更しました。

〈フラワーアレンジメント〉

2月11日(土)までにお願いします。2月16日(木)10時～12時　持ち物はハサミ、大きめの袋、容器。オアシスは用意します。　花代等1000円前後です。

〈味噌づくり講習会〉

2月23日(木)10時～14時頃　参加費500円(昼食込み)　持ち物　大豆を十分柔らかく煮て、鍋ごと持ってくる・カメ・重石・紙と布　参加される方は準備物がありますので早めに申し込んで下さい。講師は田頭千鶴子さん・安井富子さん(使い捨て時代を考える会)。

〈めしませきもの〉

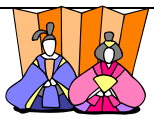
2月24日(金)9時～12時　着物をもっと自由にがモットーです。どうぞご参加下さい。

〈パッチワーク講習会〉　ペンケースを作ります

3月2日(金)・9日(金)10時～11時30分　講師　松本則雄さん　持ち物　裁縫道具　ものさし　表布(25㎝と15㎝の長方形)が4本必要・・・濃い色2本と薄い色2本　キルト地(25㎝の正方形・安いのでいいです)　ファスナー1本(18㎝～20㎝)　バイヤス(幅4センチの65㎝)　裏布1枚(25㎝正方形)　参加費150円　2月中に申し込んで下さい

〈おひなさまコンサート〉

3月3日(土)午後1時～　**弾き語り　伊佐昭代さん**　。参加費500円　澄んだ歌声と心魅かれる詩。参加希望の方は連絡下さい。



〈フラワーアレンジメント〉

3月16日(金)10時～12時　持ち物はハサミ、大きめの袋、容器。オアシスは用意します。　花代等1000円前後です。

3月13日(火)までに申し込んで下さい。

＊味噌作り。今回で3回目となります。今まで参加された方々が、ご自分で味噌作りをされるようになりました。嬉しいです。

(うえたにじゅんこ)

として山折さんは昨年3月11日の地震のことを書いておられる。『「東日本大震災」という呼称の持つ意味。はじめは「東北地方太平洋沖地震」と命名されていた。

でも、東北がそぎ落とされ、太平洋も使われなくなった。これは東北の切り捨て、東北差別の象徴的な意識の表れではないか、と思っているんです。東北を見下してきた長年の歴史認識が無意識に息を吹き返したように思える。

太平洋沖の名称を消したことはもっと問題である。太平洋プレートと北米プレートの重なり合いによる摩擦で起きた地震といわれている。この災害は日本だけでなく世界規模の問題であることを訴える絶好の機会だったのに』と。『昨年4月に被災地・東松島、石巻、気仙沼に行った。その時の印象は地獄という言葉がふさわしかった。・・・』(山折さんは戦時中、母の故郷花巻に疎開。仙台で大学生活を送る。ふるさとは花巻という)

(次号に続きます。)